

「野党共闘とシールズ」

・・・労働者の立場はどこに

現在、2千万の非正規の労働者が無権利、低賃金に苦しみ、国家の借金は、1千兆円に達し、国家財政は、崩壊に向かっていきます。労働者の生活は、押しつぶされようとしています。

こうした、現状のなかで、小選挙区制・供託金制度の不公平、不平等の選挙制度のもとで、有権者の18%の得票で議席60%を得ているのが、安倍自民党です。自民党は、あたかも国民的支持が得られたかのように「特定秘密保護法」や、「安保関連法」を成立させました。この暴挙のなかで、学生団体SEALDSが結成され、安保法関連法への反対や立憲民主主義の擁護などの運動を行い、前回の参院選では、野党共闘が成立しました。

しかし選挙結果は、安倍政権を追い詰めるどころか反対に、与党が改憲提案を可能とする3分の2を占めるといふ圧勝に終わりました。私たちは、この事実を真剣に考えなくてはならないと思います。そのためには、野党共闘とは何だったのか、SEALDSの運動はどうかを考える必要があります。

三多摩「働く者のセミナー」の会は、こうした問題を考え、討論したいと思います。初めての方、何とかこの現状を良くしたいと思っている方の参加を期待します。大いに議論しましょう！

「働く者のセミナー」で考え討論しよう

プログラム～報告と討論～

「野党共闘とシールズ」

・・・労働者の立場はどこに

とき 10月16日(日) 午後1時30分～4時

ところ 国分寺労政会館 和室(第一)

国分寺南町3-22-10 042-323-8515

JR国分寺駅南口下車徒歩5分

主催 「多摩働く者のセミナー」の会

連絡先 090-8813-5985 かもした

会場図

